

事業所名 グループホーム くう
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成21年 3月31日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 介護保険施設勤務
資格・経験 社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー
B:現職 介護保険施設勤務
資格・経験 介護老人福祉施設(12年)

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・ 県北部の自然豊かな環境の中にホームはある。周辺には、医療機関やスーパー等の商業施設も立ち並び、日常的な外出支援にも事欠かない。母体法人が医療機関であり、老人保健施設やリハビリ施設、通所介護施設等が併設しており、地域の医療・福祉の拠点として地域住民の健康な暮らしを支え、その介護力や機能をホーム運営にも活かしている。また、医療・介護両面での万全な支援体制があることは、入居者・家族にとって心強い。
- ・ ホームと併設施設との間に広い中庭があり、入居者や訪問者、託児室の子供達が集って交流する場となっている。花木や芝生を植え、ガーデニングテーブルや椅子も配置し、誰もがゆっくりとくつろげるよう環境を整えている。当日も、入居者と職員が、託児室の子供達と一緒にボール投げやゲーム、体操等を行っており、楽しそうな笑い声や歓声が上がっていた。
- ・ 医師でもある管理者や、看護資格を有する職員を配置し、職員の衛生・健康面での管理・指導を徹底して行っており、管理日誌の中には、出勤職員の健康状態(体調、化粧創、服装、毛髪、爪、手洗、消毒等)を記録して職員の異常の早期発見や感染症の予防・対策を行い、入居者の安全・安心な暮らしを守っている。
- ・ 職員が心にゆとりを持って穏やかに丁寧に対応することで、入居者の心の安定も図れるよう、職員同士が協力し合い、入居者一人ひとりへ統一した介護を提供できるように日々取り組んでいる。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

特に改善の余地があると思われる点はない。

- ・ 職員の入居者に対する思いが溢れるホームであり、今後も入居者一人ひとりと向き合い、そのらしさを大切にしながら穏やかで安らぎのある生活を提供し続けていけることを期待する。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 恵まれた自然環境の中で、入居者の「自分らしさ」を大切に、「穏やかで安らぎのある生活」を提供することをめざしている。 ・ 入居者の今までの生活歴や経験をもとに、出来る事やしたい事一つずつ実現してもらい、暮らしの中で喜びや楽しさを感じ、張り合いを持って過ごしてもらえるように支援している。 ・ 医療と福祉の連携が図られた環境を活かし、入居者・家族に医療・健康面での安心を提供できるように努めている。 ・ 共に過ごす家族として、入居者の思いを分かち合い、心身共に安定した暮らしを送ってもらえるよう、入居者一人ひとりとの関わりを大切にしながら日々の暮らしを支えている。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入居者それぞれが、思い思いに過ごせる場の提供に努めている。当日も、2階のベランダに置かれた椅子に座って外の景色を眺めている方や、プランターの花に水遣りをしている方等、入居者一人ひとりが好きな場所で自由に過ごされていた。 ・ スケジュールや日課にあてはめるのではなく、入居者一人ひとりが持っているペースや望んでいるペースに合わせた暮らしを支援している。 ・ 外出の機会を多く作り、地域の方とふれ合ったり、四季の移り変わりを肌で感じてもらう、心身の活性を図って生き生きと楽しく暮らしてもらえるように支援している。 		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 面会簿は設けず、面会の記録はカード式にして訪問者一人ずつに記入してもらおうとしている。 ・ 重要な書類や薬は鍵の掛かるロッカーで管理し、個人に関する情報を他の入居者や訪問者が目にしたり、洩れることがないように、十分に注意している。 ・ 排泄や入浴時には、入居者のプライバシーや自尊心を傷つけないように配慮し、対応を徹底している。 ・ 裁縫や家事、漬物作り等、入居者の今までの生活や経験を活かし、得意とする事や好きな事に自然に取り組みできるように働きかけ、日々の生活の中で喜びや楽しさを感じ、活力を持って暮らし続けられるように支援している。 		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故が起こった場合は、申し送り表に記入し、職員間の情報共有を図り、問題について意識づけをしている。再発防止に向けてのミーティングでは、問題点を探り、対策を検討している。起こった問題については、法人内の「医療安全対策管理委員会」でも検討し、事故の再発防止に向けて組織的に取り組んでいる。 ・ 職員は、「職員の心のゆとりが入居者のゆとりを生む」との思いで日々の業務にあたっており、自身の介護資質の向上にも意欲を持って取り組んでいる。法人内の研修や外部研修に参加し、そこで知り得たことは勉強会での発表を通して再確認し、他の職員への周知徹底も図っている。 		